

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	69	新産業起業化推進調査研究事業 (物流拠点推進調査研究事業)	会計	1	一般会計
基本施策	47	企業誘致により雇用の場を増やす	款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	6	企画費
担当部課名	企画振興部企画調整課		細目	101	調査企画推進事務経費
作成者氏名	山下 章光	連絡先 22-9620	細々目	04	新産業起業化推進調査研究経費(物流拠点推進調査研究経費)

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	物流拠点を含めた集客・交流を中心とした新産業の創出。	成果(どうなるのか)	雇用の場となる新産業拠点創出の方向が示されるほか、まちなかの賑わいが再生される。
	本年度事業内容	新産業起業化研究会を立ち上げ、あらゆる面から可能性を図るため、企業立地部会と集客交流部会を設置。今後2年間で取り組む方向をまとめた方針を基に本年度は、集客交流の仕掛けとして、町家みらいセンターを中心とした西大手界隈の再生のための実験事業を開催する。また、新たな産業拠点(企業立地)の可能性を研究する。		
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 19 年度	根拠法令・要綱等 地方自治法等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	3.0	1.5	1.5
	人件費合計(A)	21,600	10,800	10,800
支出内訳(千円)	事業費(B)	14,996	15,243	15,243
	委託料	14,490	14,490	14,490
	その他	506	753	753
	合計(A+B)	36,596	26,043	26,043
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	9,660	9,660	9,660
	一般財源	26,936	16,383	16,383
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
まちなか再生のための実験事業数	回		1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
事業実験期間中におけるイベント開催日に町家みらいセンターを訪れた一日平均来館者数	町家みらいセンターは車での来館は不可能であるため、歩いてでも行きたくなるイベントが開催できるかどうかという観点から指標とした。	人	目標 ()	100	150
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

17年度は物流拠点の誘致検討を主な活動として出発したが、広い意味での新産業拠点の調査として、企業立地と集客交流の部会により実現の可能性を高める検討が進められている。
--

評価	必要性	4	新産業の創出にむけて様々な角度からの検討を行い、集客交流については地域との連携により秋にまちなか再生実験事業に取り組む。しかし、企業立地に関しては具体化に向けた取り組みが急務である。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		